

かたつむり通信 27号



2021年度総会報告・代表あいさつ



しなチャイは万全な感染対策をとりながら、活動しています！



代表：谷山啓太

2021年5月22日、しながわチャイルドラインの総会を品川区立中小企業センターで開催しました。

昨年度は2020年4月の緊急事態宣言から始まり、異例づくめの、大きな変化の中での一年になりました。

子どもたちの不安が高まる中、一旦はチャイルドライン常設活動を縮小し

たものの、会員の力を合わせ、6月からは通常通りの活動頻度に戻すことができました。チャイルドラインカードを配るだけでなく、学校へ出向いて子どもたちに直接語りかける「出前授業」も、校長室からZoomを使うという形でさせていただくことができました。受け手養成研修、「子どもの権利を考える2021春」など、さまざまな

工夫の上で、子どもたちを真ん中に置き、充実した活動ができたものと考えています。

未だコロナの収束も見通せず、子どもの自殺の急増も報告されています。こんなときだからこそ基本に立ち返り、子どもの心に寄り添う活動をていねいに続けていきたいと思います。そのうえで、子どもの声を直接聴いている私たちだからこそ、その声を社会に届けることができると考えています。社会への発信の重要性は増しており、積極的に取り組んでいきます。今年度で私たちの活動は20年目に入ります。会員だけでなく、子どもに寄り添いたいと願う仲間と、地域の皆さまと手を携えて活動を前に進めていけたらと思います。



副代表：小林けさみ

<2021年度役員名簿(敬称略)>

理事：浅川 周二、猪俣 庸子、片岡 紀子、北島 仍子(副代表)、服部 美代子、松澤 麗子、矢吹 陽子、小林 けさみ(副代表)、谷山 啓太(代表) 監事：内藤 賢志

TOPICS

◇ 「子どもの権利条約を考える2021春」を開催しました

チャイルドラインは国連「子どもの権利条約」の理念を大切にしていますが、私たち自身、本当にその意図するところを理解できているのだろうか、そんな疑問が浮かんできました。

今回、あらためて正面から「子どもの権利」を取り上げ、地域の皆さんと一緒に考えてみたいと思い、「子どもの権利を考える2021春」を企画し、2部構成で実施しました。

2月22日は国連子どもの権利委員会委員の大谷美紀子さんをお迎えし、子どもの権利について学びました。大谷さんのお話は、平易な語り口で、大切なことを気づかせ、考えさせてくれるものでした。80名の申込みに対して74名もの参加となり、事後アンケートにもびっしり書き込んでいただきました。

3月4日はみんなで学びを深めるシンポジウムを開催しました。70名を超える方に参加いただき、終了後のアンケートには心のこもったメッセージをいただきました。

した。基調講演は北島尚志さん、熱のこもったお話をしてくださいました。シンポジウムは初めての試みでしたが、3名のシンポジストにチャイルドラインの電話のやり取りをもとに、子どもたちの置かれた状況や、私

ち大人に何が必要なのか、というところまで話し合うことができたと思います。

子どもの権利を考えるとともに、大人同士もつながれる地域・社会を目指していきたいと思った夜でした。

◇ 品川区の児童・生徒のタブレット端末にチャイルドラインが入りました！

去年1年間に自殺した小中学生と高校生が過去最多となってしまいました。背後にはもっと多くの未遂や、念慮を持つ子どもたちがいると思われます。私たちはそうした子どもたちを電話の前で待つだけでなく、誰でもSOSを出していいんだということ、どうやってSOSを出したらいいのか、その方法を子どもたちに伝えていかなければならないと考えています。そのために、チャイルドライン・カードを子どもたちに届けること、学校に出向いて子どもたちに直接語りかける出前授業を行ってきました。

今年品川区立の小・中・義務教育学校の全児童・生徒に配られた2万数千台のタブレット端末に、「困ったとき、悩んでいるときに相談できるツール」としてチャイルドラインへのリンクが配信されました。SOSを出す方法のひとつとして、子どもたちの手元にチャイルドラインが届いたということです。このツールが子どもたちに有効に活用してもらえるものになるようにサポートしていきたいと思っています。



今年品川区立の小・中・義務教育学校の全児童・生徒に配られた2万数千台のタブレット端末に、「困ったとき、悩んでいるときに相談できるツール」としてチャイルドラインへのリンクが配信されました。SOSを出す方法のひとつとして、子どもたちの手元にチャイルドラインが届いたということです。このツールが子どもたちに有効に活用してもらえるものになるようにサポートしていきたいと思っています。

◇ 出前授業報告

5月20日、子どものための活動をされているお坊さんのオファーで、真宗大谷派への出前授業をオンラインで実施しました。「コロナ禍でこどもの声を聴いて感じたこと」では、「困っている」より「不安を感じている」子どもが急増していること、そしてもともと困難や生きづらさを抱えていた子が、コロナによってよりその困難がより深刻化してしまったケースが目立ったことなど、私たちが実際に肌で感じたことを伝えました。「話、聞いていますか、それとも聴いてい



ますか」では、傾聴について多角的な視点を提供しました。「ワーク」では参加者が聴き手、話し手、観察者になり、どうやって話し手と向き合ったらいいか、聴き方によってどのような感覚を得られるのかを体験してもらいました。

この他にも、いくつかの品川区立の中学校、義務教育学校に出向いて、子どもたちに直接語りかけ、チャイルドラインを知ってもらい、「つながる」ことへのハードルを下げる活動を行っています。時節柄、校長室からZoomで各教室に配信するという形になっています。



◇ 6月会員継続研修(日常的に連携している方々も参加)

3月東京都議会で全会派一致で「東京都子ども基本条例」が採択されました。チャイルドラインは1989年に国連がつくった「子どもの権利条約」を基本に活動しています。そこから30年、「先ずは子ども基本条例をよく知りましょう!」ということで、この条例をつくら

うと30年続けて来て下さった東洋大学の森田明美先生を迎えて話を伺いました。

「子ども主体に!」を大事に長い活動だったこと、「この議会で通さなければ出来ない!」と思っていたことなどを伺い、条例が立体的に浮かび上がって来るような熱いお話でした。他の地域の動きなどにも多く関わ

ていらして、そんな話からも沢山学べました。この学びを忘れず、それを活かしていくのは私たちです。大きな

課題を頂きました。zoom 配信で会員 25 名、外部 26 名の参加でした。

◇ 19 期養成研修報告

3 月からは、19 期養成研修を終えた新しい仲間も活動に加わり、現在 85 名の会員が活動をしています。緊急事態宣言で遠くから来ることを控えている会員がいる中、頼もしい限りです。皆さん、最初は不安や緊張を感じ

ながら活動を始めますが、「振り返りや研修会などを通して学びや疑問を共有できるのが心強い」「子どもたちの『出会い』に楽しさを感じられるようになった」などの感想もありました。

◇ 20 期養成研修募集開始

10 月から始まる 20 期の受け手・サポーター養成研修の募集が始まりました。詳細は、[しながわチャイルドラインのホームページ](#)、[Facebook](#) (最終ページの QR コード参照) などでご確認ください。

2021 年度年間活動予定

今年度も元気に活動します！



日程	活動内容
毎週水曜、金曜、第 2 日曜	チャイルドライン電話常設活動
第 2、第 4 木曜、第 3 土曜	オンラインチャット常設活動
毎月 11 日	イオン、黄色いレシートに参加
ほぼ月 1 回 (8 月除く)	継続研修
5 月	定期総会 (5 月 22 日)
6 月	チャイルドライン支援センター総会 (6 月 12 日) 東京都の各区、市の子どもたちへのカード配布
7 月～9 月	●かたつむり通信 27 号発行 ●7/1～9/30 チャイルドライン夏の東京キャンペーン
10 月	20 期受け手・サポーター養成研修 (立正大学と共催) (5 日～12 月 14 日、毎週火曜、10 回) ■公開講座 A「居場所のちから」 ●子育てメッセ参加
11 月	■公開講座 B「子育てをシェアするまちとは？」
12 月	望年研修会
2022 年 1 月	20 期養成研修生オリエンテーション、フォローアップ研修等 かたつむり通信 28 号発行
2 月	地域活動展参加
3 月	総会準備
* その他	●支え手会議・研修・受け手支え手交流会、月 1、順繰りで支え手養成研修 (年 1～2 回) ●オンラインチャット担当養成研修 (年 1～2 回) ●チャイルドライン南関東エリア会議 (年 4～5 回) ●東京ネット会議 (毎月 1 回)

◇ 『子どもを守る言葉「同意」って何? YES、NO は自分が決める!』

「同意」って何だろう?

わたしは現代っ子(笑)なので迷わず検索してみると、辞書的定義は「意見・求めなどに対して賛成・承諾すること」だそう。人から頼みごとをされたとき、内心イヤだな……と思いつつ同意してしまうことってありませんか? お互いに「同意する/しない」を尊重し合うことは大切。そんなのは分かってる! と思いながら読んでみると、意外にできてなかったかなと反省。

“自分のこころとからだを守る”ことがいかに大切か。そしてそれは“周りの大切な人を守る”ことにも繋がる。子ども向けの本ではあるが、年齢を問わずそんなことを教えてくれる素敵な一冊です。(S・O)



しながわチャイルドライン電話実績

2021年1月～6月

※電話データ

主訴	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
自分	64	74	63	72	56	61	390
性	18	12	21	23	19	18	111
学校・FS	15	17	6	16	27	14	95
家庭	16	16	20	14	16	17	99
その他	3	5	7	4	8	7	34
無言など	315	314	237	284	266	364	1,780
合計	431	438	354	413	392	481	2,509

※チャットデータ

主訴	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
自分	14	11	14	15	9	7	70
学校・FS	3	8	11	9	4	5	40
家庭	5	6	5	3	1	9	29
その他	0	1	0	3	2	2	8
合計	22	26	30	30	16	23	147

◇FS…フリースクール

◇無言など…無言・会話不成立

ご支援ありがとうございます

集計期間 : 2021/1/1～2021/6/30

寄付金・賛助会費・助成金の総額

➤ 377,160円

個人のご支援者: 15名(集計期間内)

ご支援いただいた団体の皆さま(集計期間内)

■東京IIIソントクラブ ■清子フラススタジオ・ブナヘレナクラブ

■社会福祉法人 品川区社会福祉協議会 ■厚生労働省

しなチャイの運営は正会員の会費、賛助会員さまの会費、寄付金、助成金によって成り立っています。

【賛助会員】年会費「1口2,000円」から何口でも

銀行名: ゆうちょ銀行

口座名義人: トクヒ)シナガワチャイルドライン

記号: 00160-5 / 番号: 664278

※ゆうちょ銀行以外からお振込みいただく場合

支店名: O一九(ゼロイチキュウ)

預金種別: 当座預金 / 口座番号: 0664278

会費、ご寄付の用途は、子どもたちに配布するカード作成費(1枚0.7円)、公開講座の開催費などです。

発行 : 特定非営利活動法人 しながわチャイルドライン

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-23-24-203

Tel. / Fax. 03-5462-2868 <https://www.sinagawachildline.org/>

発行月: 2021年7月

ホームページ

Facebook

